

小さい事に忠実な人は、大きい事にも忠実であり、小さい事に不忠実な人は、大きい事にも不忠実です。ルカ16:10

2017(29)年 週 報

2月19日

「主は近い」

第3聖日

聖
言

第3495号

いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。あなたがたの寛容な心を、すべての人に知らさなさい。主は近いのです。ピリピ4:4、5

主の弟子となる 第四課 心の一新 文献に当たる
今日、クリスチャンが祈りや罪の告白、神のことばの黙想、地区教会への参加を通して、心の思いを一新することは最も必要なことです。使徒パウロは、次のように命じています。「この世と調子を合わせてはいけません。いや、むしろ、神のみこころは何か・心の一新によつて自分を変えなさい」(ローマ二ノ二) ジョジ・ウツドブリッジは「俗世界にあつて考え方を一新する」という著書の序文でこのようにかいています。今日最も偉大なクリスチャン指導者の一人であるフランシス・シェーファは、「真に靈的であること」で、ローマ二ノ一、二がどれほど力に富んだものを説明しています。「確かに求められていることは私たちのからだをささげることですが、これは内面の理解と言う土台の上に立つて初めて意味を持つ。パウロはここで、この世と調子を合わせてはいけません。と言っています。しかし、これは単に外面的に同調しないというだけのことではありません。これと対照されるのが、心の一新によつて変えられなさいであつて、これは内面的なことです。三位一体の神の行為者としての聖霊のみわざは、私たちが羽織るコートのようなものではない。それは外になにかをもたらず内面的な特質です。そこで、私たちのクリスチャン生活における真の靈性は何かを考えて見たい。それは本質的に私たちの思いです。外に見えるものはその現われであり、結果です。倫理的な戦いは、外の世界で勝利を得るのでない。原因があつて結果が自然に付いてくるのである。原因は心のおもいという内なる世界にある。

(CIB主の弟子)

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

「御霊のいのり」

「すべての祈りと願いを用いて、どんなときにも御霊によって祈りなさい。そのためには絶えず目をさまして、すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くしました祈りなさい。」(エペソ六ノ一八)

祈りが武器の一つとして描写されることはあまりないが、戦いのためにクリスチャンの備えに祈りについて言及を含まないわけにはいかない。武器のさまざまな部分を描写してきた中で、パウロは「それぞれの武器を祈りをもつて身につけなさい」と言わんとしたのであろう。そして、『すべての祈りと願いを用いて』と続けている。ギリシャ語原文では「すべての」という語やその同義語が、この節で四回も使われている。「聖徒の生き方と戦いぶりがそのまま神への偉大な祈りであり、この祈りは状況が良からうが悪からうが、新しい形でささげられ、この祈りが自分本位ではなく、すべての聖徒の必要と望みを表現するものである」。新約は、クリスチャンに祈るのをやめてはいけないとしばしば勧めている。(ルカ18)「望みを抱いて喜び、患難に耐え、絶えず祈りに励みなさい。」(ローマ12:12)。「何も思い煩わないで、あらゆるばあいに、感謝をもつてささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていたください。そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあつて守つてくれます。」(ピリピ4:6)。「目をさまして、感謝をもつて、たゆみなく祈りなさい。」(コロサイ4:6)。「絶えず祈りなさい。」(1テサ5:17)。「ここで時に強調されているのは、人生のどんな時に (kairos) という語が使われている。『時がついに満ちて、この時のためのみこころが実行に移され、天にあるものも地にあるものも、いっさいのものも、キリストにあつて一つにあつめられることなのです。』(エペソ1:10) 「機会を十分に生かして用いなさい。悪い時代だからです。」(エペソ5:16) にも祈りによって取り扱わなければならないことである。使徒かこれが簡単な要求でないことに十分気づいている。人々は困難に会うと、いとも容易に、神に

ではなく、人のところに持つていく。「祈りの力は組織的な訓練によって得られる」。祈りにおいて忠実であることと、クリスチャンが自然に祈りに頼ることは、祈りが生活の習慣となることによつて、また「絶えず目をさまして、忍耐の限りを尽くす」ことを学ぶことによつてのみ可能である。「目を覚まして」あるいは「見張る」というのは、イエスご自身が弟子たちに頻りにした勧告であり、中でも最も重要なのはゲツセマネでの試みの時、祈りによつて力を得なければならなかつたときである。しかし、ここでもパウロのことばにはすばらしいバランスがある。この目を覚ましていないことや、自分を訓練することさえ、単なる人間の努力の問題でない。真のクリスチャンの祈りは御霊による祈りである。御霊は助けぬしとして与えられた祈りだが、祈りのためだけではない。「御霊も同じようにして、弱い私たちを助けてくださいませ。私たちがどのように祈つたらよいかわからないのですが、御霊ご自身が、言いようもない深いうめきによつて、私たちのためにとりなしてくださいます。人の心を探り窮める方は、御霊の重いが何かをよく知つておられます。なぜなら、御霊は、神のみこころに従つて、聖徒のためにとりなしてくださるからです。」(ロマ8:26, 27)。この書簡におけるこの句の他の用例におけるように「私たちは、このクリスチャンによつて、両者ともい一つの御霊において、父のみもとに近づくことができるのです。このクリスチャンにあつて、あなたがたもともに建てられ、御霊によつて神の御住まいとなるのです。」(エペソ2:18, 22)。「この奥義は、今は、御霊によつて、クリスチャンの聖なる使徒たちと預言者たちに啓示されていますが、前の時代には、今と同じように人々に知らされていませんでした。」(3:5)。「また、酒に酔つてはいけません。そこには放蕩があるからです。御霊に満たされなさい。」(5:18)。「御霊によつて」とは御霊の助けによつてということ以上のものを意味している。御霊はクリスチャンの生活環境であり、クリスチャンが御霊によつて生きる時に目を覚まし、祈りを継続する力が恵みとして与えられる。そのような祈りが、ささげられる時間や方法に制限はなく、それによつて祈りがささげられた人々のもとへと限りなく届くと「言うことを、パウロは最後に語っている。クリスチャンは自分の霊の戦いのことだけでなく、クリスチャンの教会全体や、また戦いの中にいるすべての仲間たちの勝利に関心を持つべきである」(そこで、まず初めに、こ

とを勧めます。すべての人のために、また王とすべての高い地位にある人たちのために願ひ、祈り、とりなし、感謝をささげられるようにしなさい。」(1:21)「あなたがたの思い煩いを、いっさい、神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです。身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたけるししの用に、食い尽くすべきものを捜し求めながら、歩きまわっています。堅く信仰に立って、この悪魔に立ち向かいなさい。ご承知のように、世にあるあなたがたの兄弟である人々は同じ苦しみを通ってきたのです。」(1:22)「クリスチャンの兄弟たちが、同じような困難を経験していることを思い出させられている。御霊の助けによって祈る以上に、私の祈りは御霊の祈りである。なぜなら、私のいのりだけなら、この世の支配者なる悪魔に勝てない。ゆえに、絶えず、目を覚まして祈る必要がある。といつても、強制的でなく、御霊が祈らせてくださる。そのいのりは義務や習慣以上のものである。聖徒とは立派なクリスチャンでない。イエス・キリストの十字架のあがないを信じて罪を悔い改めて洗礼をうけた全ての人である。その人のために忍耐の限りを尽くし、また祈るのである。」

二〇一七年二月八日午後六時半 祈祷会 山本稔牧師

「主の民のために戦う神」 ヨエル三ノ一〜一三

「あなたがたの鋤を剣に、あなたがたのかまを槍に、打ち直せ。

弱い者に『私は勇士だ。』と言わせよ」(ヨエル三ノ一〇)

「弱い者に『私は勇士だ。』と言わせよ」。この命令は使徒パウロの告白を思い出させる。弱い時に強い。私たちができないことをありのままに告白し、主だけに頼り頼むなら、勝利する。

戦いのために主は「いつも目を覚ましていなさい」と命じられる。サタンに攻撃の隙を与えないためである。神の恐ろしさを知るサタンは、再臨により永遠に葬り去られるのを知り、最後のあがきをしている。もし失敗や敗北しても、神の国は滅びない。主はすでに十字架と復活により勝利をおさめられている。

祈りのお願い

教会の後継者、神学生があたえられるように
一つ心になって互いに従順に神と人々に仕えるように

今年教団行事計画

- 三月二〇日(月) 東洋聖書神学院論文発表・牧師会
- 五月三日(水) ペンテコステ聖会
- 五月四日(木) 名古屋訪問
- 六月五日(月) 牧師会
- 七月一七日(月) 牧師会
- 八月 仮庵聖会
- 九月一八日(月) 牧師会
- 一〇月九日(月) ヨベルリバイバル集会 水野夏子姉コンサート
- 十一月三日(金) 聖成基督教団創立六九年記念会
- 一二月二四日(日) クリスマス礼拝・コンサート 水野夏子姉